ASC レポート

ASC 認証とは

(https://www.asc-aqua.org/ja/)環境に負荷をかけずに地域社会に配慮して操業している養殖業に対する認証制度です。私たちは閉鎖循環式陸上養殖(川や海の水を全く使わず、販売サイズまでプラントで行う養殖)を行っており、この度 ASC 認証を取得致しました。閉鎖循環式陸上養殖は自然環境や野生動物へのインパクトはごく僅かで、養殖魚でよく取りざたされる抗生物質の残留や、魚が脱走し生態系に影響を与えるといった問題とも無縁な養殖技術となります。これらは ASC 認証が掲げる、持続的な養殖という面において完全に親和性の高い養殖形態となります。今後も環境にやさしく、地域社会に配慮した責任ある養殖事業を展開していきたいと考えています。そのための一環として下記の情報公開を行います。

各種情報の公表

寄生虫に関して

養殖では集約的に飼育を行うため、寄生虫が養殖生簀内で発生、増加することが一部問題視され、これが周辺環境の天然魚にも影響を与えることが懸念されています。私達は種苗を受け入れる際は PCR 検査やその他の様々な検査方法を用いて寄生虫に限らず、ウイルス性、細菌性のいずれの魚病も外部から持ち込まない体制を構築しています。定期的な自主検査も行っており寄生虫が発見されたケースはありませんが、今後寄生虫が発見された場合は HP にて発生状況や対応状況を公開する予定です。陸上養殖の利点である魚病侵入の管理が可能な点が生かされており、また河川や海洋等の自然環境に接続していない私達の養殖プラントでは万が一魚病が発生したとしてもそれを自然界に蔓延させることはありません。

治療薬および寄生虫駆除剤負荷の合計

上記と同じ理由により、私たちの養殖事業では抗生物質や寄生虫を駆除するための薬品を一切使用していません。

養殖場における野生動物の死亡事故件数

私達は養殖をプラント内で行っています。物理的に隔離された屋内での養殖であり、養殖場での野生動物の死亡事故は見られません。

養殖個体の原因不明の損失数

私たちは養殖している魚の数や養殖中に発生する死魚をすべて把握しています。

養殖場	木更津プラント
本資料該当期間	2024/1/1-2024/12/31
寄生虫の発見数	0 件
野生動物の死亡事故例　鳥類	0 件
野生動物の死亡事故例　哺乳類	0 件
養殖個体の原因不明の損失数	0 尾
治療薬および寄生虫駆除剤負荷の合計	0(使用履歴無し)
対象飼育魚ロット	弊社で飼育しているすべての魚
GMO 品種一覧	https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/siryo/gmo_feed.html
ASC 審査日程	2025/8/5
CAB 連絡先	アミタ株式会社　ninsho@amita-net.co.jp

*治療薬および寄生虫駆除剤負荷の合計の計算法は ASC Salmon Standard Version 1.4 を参照